

日弁連第58回

人権擁護大会プレシンポジウム

主催 横浜弁護士会

共催 日本弁護士連合会、関東弁護士会連合会

後援 神奈川県大規模災害対策士業連絡協議会

# 低線量被ばくと人体への影響について

～被ばくリスクについての科学的な到達点を探る～

き き ま はじめ  
講師 聞間 元 医師

2011年3月に起きた福島第一原発事故によって広範な地域が放射能により汚染され、事故から4年以上が経過した現在においても、各地で深刻な被害を与え続けています。政府は、避難住民の帰還への不安を取り除くためとして「放射線リスクに関する基礎的情報」を発刊するなどし、帰還政策を推し進めており、避難住民は帰還するか否かの判断を迫られています。

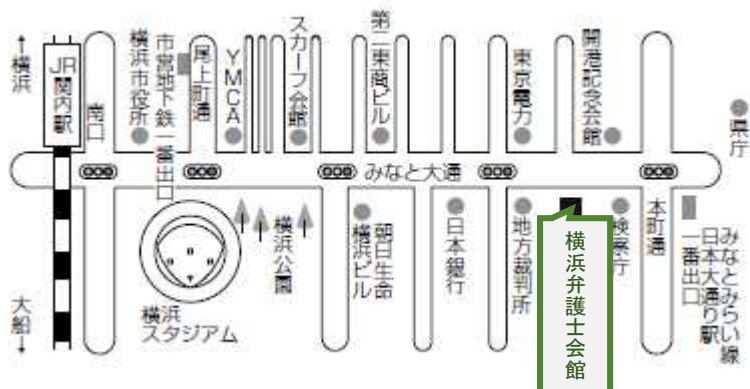
そこで、今一度、低線量被ばくと人体への影響、被ばくリスクについての科学的な到達点を探る必要があります。



平成27年9月19日（土）15時～17時  
横浜弁護士会館 5階大会議室

入場無料・予約不要

(先着120名様まで)



横浜市中区日本大通9 TEL: 045-211-7710

- ・JR 関内駅南口より徒歩10分
- ・市営地下鉄関内駅1番出口より徒歩10分
- ・みなとみらい線日本大通り駅1番出口より徒歩1分



## 講師プロフィール

聞間 元（ききま はじめ） 医師



熱海市出身。信州大学医学部卒。生協きたはま診療所所長

広島・長崎原爆被害者の方の「被爆者医療」への取り組みをライフワークにしている。これまで全日本民医連（全日本民主医療機関連合会）の代表として、旧ソ連セミパラチンスク核実験場や、南太平洋マーシャル諸島などでの核実験被害調査に参加、第五福竜丸元乗組員のC型肝炎の療養補償の実現のための活動（ビキニ水爆被災事件静岡県調査研究会（略称ビキニ研）は、2012年に焼津平和賞を受賞）等を行う。現在、財団法人第五福竜丸平和協会専門委員、NPO法人被爆者の記憶遺産を継承する会理事。

同日開催！



講演会の前に、原発損害賠償についての法律相談会を行います。（午後1時から3時まで一先予約）

事前予約・お問合せ：横浜弁護士会 TEL 045-211-7701

